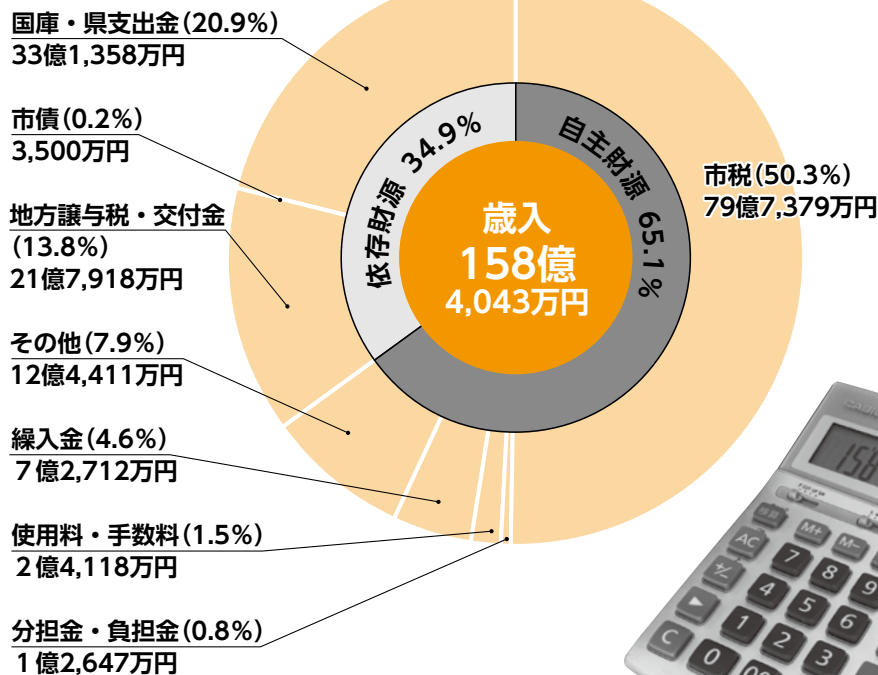


平成27年度決算報告

照会 財政課 ☎0537-1112

前年度よりも5億2,250万円減額

歳入 158億4,043万円



財政の健全性を維持

平成27年度決算がまとまりました。
一般会計の歳入総額は158億4043万円、
歳出総額は150億7932万円でした。

決算概要

一般会計の歳入総額は158億4043万円、歳出総額は150億7932万円となりました。市の総人口は3万3488人(3月31日時点)で、市民1人当たり約45万円が使われたこととなります。翌年度への繰越財源1億6019万円を除くと6億92万円の実質黒字となっています。ただし、前年度からの純繰越金が5億8942万円あることから、単年度の収支としては1150万円の黒字ということになります。

財政状況の健全化を示す健全化判断比率や資金不足比率は、各項目とも早期健全化基準を大幅に下回っており、財政の健全性を維持しています。

歳入

歳入全体では、前年度よりも5億2250万円減額となりました。内訳は、市で賄う自主財源が65.1%、国や県などに頼った依存財源が34.9%です。

自主財源のうち市税は、固定資産税の減収などにより、

前年度と比べ1億5648万円減額の79億7379万円となりました。

地方譲与税・交付金内の地方消費税交付金が、消費税率の引上げに伴い前年度より2億7120万円増額の6億9284万円です。

依存財源の中で最も多い割合は国庫・県支出金で、歳入全体の20.9%を占めています。

歳出

歳出全体では、前年度よりも6億639万円減額となりました。主な要因は総務費の減額で、ケーブルテレビ更新工事完了に伴う減額により前年度より3億279万円減額の18億8238万円となりました。

平成27年度の主要な事業の決算額は、子育て支援事業として実施した出産奨励金に1110万円、小学生体操等購入助成費に434万円、地域振興事業として定住促進奨励金に880万円、住宅取得補助金に2867万円、小学校整備事業として白羽小学校プール新設工事が1億9800万円となりました。